活　動　報　告　書

作成者
開沼　敬三

活動名	木もれびの森づくり		2026 年 10 月 17 日 9：00～11：45
場所	相模原中央緑地	参加者（敬称略）	平野　黒岩　白川　石原（弘）　開沼　計 5 名

概要

『未来へつなぐ森づくりに参加しませんか』というコンセプトで相模原中央緑地にて相模原造園協同組合主催で今年 2 回目の『木もれびの森作り』が開催された。当会は「ドングリ生育のための区画（名称：木もれびバンク）整備」と「ドングリのポット苗づくり」を支援した。9 時より開会式がはじまり、最初に中央緑地から道路方向に向かい、組合員による枯損木の伐木作業を見学した。その後散策路沿いの低木を手鋸で伐木し、造園組合が準備したチッパーで粉砕したものを森に戻していた。休憩を挟んでドングリの苗づくりとなった。まずは森内からドングリを拾い、水の入ったバケツに入れ、沈んだドングリを使ってポット苗を作成した、さらに残ったドングリは生育区画にまいた。また、木もれびの森内でできた実生苗を採取してポットに移し、それを横浜で開催される 2027 年国際園芸博覧会で植樹されるとのことである。

参加者数：公募 31 名、市関係者 11 名、ボランティア団体 11 名、造園協同組合約 20 名

開会式（造園協同組合理事長の挨拶）

枯損木の伐木見学

低木の伐木作業

チッパーによる粉砕作業

ドングリ生育区画の造成

ポット苗づくりの説明